

事業活動温暖化対策計画に関する事項		<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	変更
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)		熊本県八代市岡町谷川135番地			
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)		櫻井精技株式会社 代表取締役 櫻井一郎			
事業概要		省力化自動機の製造業			
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号 該当特定事業者(大規模エネルギー使用事業者)	前年度の原油換算エネルギー使用量	1,722 kl		
	<input type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号 該当特定事業者(自動車運送事業者)	県内登録の自動車数	台		
	<input type="checkbox"/> 特定事業者以外の事業者				
計画期間		1年度～5年度			
温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針		令和5年度の温室効果ガス排出量を平成30年度比で5%削減する。			
温室効果ガスの排出の抑制を図るための推進体制		全社で推進する。			
		環境マネジメントシステム名称	ISO14001	適用範囲	全社
				取得年月日	H15.8.22
温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容		<p>・冷暖房設定温度(夏季27℃、冬季22℃)の継続的な実施。</p> <p>・平成26年9月に、機械工場3棟の水銀灯116灯を34灯削減し、省エネ対応のLEDランプ 82灯に変更した。</p> <p>・現在、工場全体でコンプレッサが17台稼働しているが、その内、平成28年2月に1台、平成28年7月に3台、平成28年12月に2台、平成29年12月に2台、平成30年9月に4台、合計12台を、最新省エネ型のインバーター機能搭載のコンプレッサに転換した。</p> <p>・令和元年10月には組立工場2棟で水銀ランプ72灯を22灯削減し、省エネ対応のLEDランプ50灯に交換する計画である。また、機械工場2棟で既存の空調機24台を6台削減して、新たに18台を最新の省エネタイプに切り替える予定である。</p>			
温室効果ガスの排出の状況及び抑制の量に係る目標	温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(C)	前年度の実績	目標年度(B)	増減率
		(30)年度	(30)年度	(5)年度	((B-A)/A)
		2,939 t-CO ₂	2,939 t-CO ₂	2,792 t-CO ₂	△ 5.0 %
	原単位温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(C)	前年度の実績	目標年度(D)	増減率
原単位当たり t-CO ₂		原単位当たり t-CO ₂	原単位当たり t-CO ₂	((D-C)/C) %	
		原単位の考え方			
特記事項					

- 備考 1 □のある欄には、該当する□内に「レ印」を記入してください。
- 2 「計画期間」は、提出する日の属する年度以降5か年度以内の期間を設定してください。
- 3 「基準年度」とは、原則、計画期間の前年度としますが、事業者が定める地球温暖化対策に係る計画において別に定める基準年度がある場合は当該年度を基準年度とすることができます。この場合、計画期間の前年度の実績を「前年度の実績」欄に記入してください。「目標年度」とは、計画期間の最終年度をいいます。
- 4 温室効果ガス算定排出量の対象とする温室効果ガスは、エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素とします。
- 5 原単位による目標を設定する場合は、「原単位温室効果ガス算定排出量」欄を記入してください。「原単位の考え方」欄には、温室効果ガス排出量の抑制に係る取組等が適正に反映されると考えられる指標(生産数量、延べ床面積等)や設定に係る考え方等を記入してください。
- 6 「特記事項」欄には、過去の温室効果ガス排出削減に係る実績や地球温暖化防止に寄与する技術又は商品の開発等の取組があれば、記入してください。